



平成 30 年度 建設現場見学会感想文集 (阿南光高校)

一般社団法人徳島県建設業協会

平成 30 年度高校生の建設現場見学会感想文

◇阿南光高校都市環境システム科 1 年生◇

1.浅野衣吹

今回、作業中の現場を 4 つ見学し、私が現場見学で印象に残っているのは次の現場です。

1 つ目の現場は、タイヤローラーに実際に乗り、現場の方 1 人と私を含めた 4、5 人で乗りました。また、1 人 1 人が現場の方の指示で少しながら実際に操縦しました。現場の建設機械に乗っている時は時間を忘れていました。

2 つ目の現場は、堤防を作っている建設現場へ行き、現場の人たちが働きやすい環境づくりに力を入れていることです。現場の人の話によると夏の暑い時期では、休憩時間をいつもより多めにとり、状況に応じて環境を少しでも良くしていました。現場の人たちの熱心な姿勢を感じることができ、私は感激しました。

今回、私が行ったことがない地域に出向き、貴重な現場見学会をさせていただき嬉しく思います。この現場見学会で建設業に興味をより一層深めることが出来ました。

2.池下 陸

私は、今回の現場見学会で学んだことは、タイヤローラー、ブルドーザーの運転の仕方と ICT の使い方などについて学びました。特に興味が湧いた現場が次の通りです。

最初の現場では、ICT によるドローン、バックホウの操作について学びました。操作方法が簡単で女性の方でも操作ができるのがすごいと思いました。次の現場では、タイヤローラー、ブルドーザーの運転を体験しました。タイヤローラーの運転は上手くいったけど、ブルドーザーは上手くいきませんでした。このことで、興味が湧いたので、いずれ資格を取りたいと思いました。さらに、砂防ダムを見学し、近所の人に不信感を与えないような気遣いをされているのが素晴らしいと思いました。

今回、現場見学会に参加し、前まで建設業はきつくてしんどいと思っていましたが、今回の現場見学でイメージが変わり、逆に楽しそうだなと感じることができました。

3.魚山 優

私はこの見学会で初めて建設現場に行きました。この見学会では、加茂地区、鷲敷町、美波町、中島地区の 4 つの現場に行き、1 番印象に残ったのが美波町の砂防ダムでした。この現場では、思っていた以上に大きなもので、コンクリートバケットを用いて 1 回 1 回流し込む作業だと聞き、すごく大変な作業だと感じました。

その他の現場では、ドローンを使って測量する ICT 建設機械などが発達していて、とても驚きました。本来、測量は複数人で行うと思っていましたが、ドローンを使用すると少人数で行えると聞いたからです。また、タイヤローラー、バックホーに乗らせていただき、とても楽しかったです。

私は、今回の現場見学会で学校などでは体験することが出来ないことがたくさんありました。将来、建設業に進もうと思っているので、建設現場で学んだことを役立てて行きたいです。

4.内田雄稀

私は初めて建設現場に行きました。最初現場見学会に参加するまでは、色々な機械を動かすのがとても難しくて将来就職するとき大丈夫かなと色々心配がありました。

今回の現場見学会に参加できたおかげで、ドローンや i-Construction などの最新技術を学んで、私は

驚きました。なぜなら色々な機械がコンピューターによって私たちでも分かりやすく、簡単に操作できるような技術があると知ったからです。これらによって、ダムや道路を建設する時の負担が少しでも軽減されるのではないかと思います。

今回色々なことを学んで、ドローンなど最新技術について知らなかったことを多く知ることができました。将来私は、建設業関係の仕事を選択すると思います。今回多くのことを経験できたので、今後の高校生活に活かして頑張っていきたいと思います。

5.尾形愛斗

私が現場見学会で感じたことは、多くの建設機械にコンピューターが導入されていたということです。前までの私の建設現場のイメージは、熟練の職人達が自ら操作して工事を進めていくと思っていました。しかし、ICT技術を活用することによって、測量の実施から書類による検査まですべてドローンなどで測量できることを知りました。空中から撮影して3次元測量し、その3次元測量データと設計図面との差分から、施土量を自動算出することができるそうです。これならばミスも少なくなり、時間も大幅に短縮することができるので本当にすごい技術だと思いました。

私も前まではきつい、危険、汚いと思っていましたが、ICTを使えば新3Kの給与、休暇、希望につながると思いました。建設のことはあまり知りませんでしたが、今回の現場見学会を通してすごく興味がわき、もっと知りたいと思いました。

6.樫原空楽

私は、特に気になる現場が2つあります。

1つ目は加茂谷の現場で、実際にタイヤローラーとブルドーザーに乗らせていただきました。2つとも初心者でも簡単に出来るように設定されていて私でもこれならできると思いました。

2つ目は最後に行った那賀川の現場です。ここでは、最新型の測量機器で測量をしました。私も学校の実習で測量をしたことがありますが、少人数でしかも短時間で出来ることが分かり、大変驚きました。

私がこの現場見学会で感じたことは、初心者でも仕事出来るようにされているということです。また、学んだことは、最新の器具を取り入れることによって効率よく仕事を行っていることです。私はこの現場見学会で学んだことをこれからの進路を考える時に役立てていきたいと思います。

7.清原光太郎

私は、現場見学会で4つの現場に行き、1番印象に残ったのは、いつも通っている道路の隣で最新の測量機器を使った測量をしていたことです。いつも学校でしている測量は3人1組ですが、最新の測量は1人でも出来るので、すごいと思いました。その他の現場では、ICT建設機械なら女性でも簡単に操作できると感じました。バックホーに取り付けているモニターを確認することでどこまで掘削したらいいのかがよくわかりました。また、バックホーなどの色々な重機を操縦させてもらったりもしました。しかし、私は時間が無くて操縦はできなくて見ているだけでしたが、すごく難しそうだなと思いました。機会があれば乗ってみたいです。

今回の現場見学で、今まで知らなかったことが多くありました。今回経験できたことや学んだことを将来、仕事に就いた場合には活かしていきたいです。

8.斎藤仁也

私は初めて現場見学をしました。今回行ったのは、加茂地区、鷺敷町、日和佐町、那賀町の4つの現

場を見学させていただきました。特に印象に残ったのは加茂地区左岸道路改良外工事現場と那賀川・八幡原工区那賀和食河川工事現場です。

加茂地区左岸道路改良外工事の現場ではバックホーとドローンを使った測量について教えてもらいました。バックホーでは **i-Construction** を使ったら正確にできていてとてもすごくて感動しました。ドローンでは、ドローンを使った測量の仕方を学び、学校でしている測量の仕方とは違ってとても勉強になりました。

次に、那賀川・八幡原工区那賀和食河川工事の現場です。この現場ではタイヤローラーでの敷き均しの仕方や操縦の仕方を教わりました。思っていたより簡単で楽しかったです。

今回の見学会で知らないことがたくさんありました。この経験を将来の進路決定に役立てたいです。

9.坂根裕崇

私は、初めて建設現場や土木現場を見学しました。

今回は、加茂谷地区、那賀郡、日和佐地区、那賀川町の 4 つの現場を見学させていただきました。4 つの現場では最新型の測量をしたり、ドローンを使って写真を撮って測量をしたりなど、ICT を利用していました。

私は、このような人たちがいるから公共施設や環境整備ができていると感じました。また、この現場見学会でダムや堤防の大切さを学びました。さらに、建設機械に乗って操作法や機械の大切さを学ぶこともできました。

この現場見学で学校では学べないことをたくさん学べて本当によかったと思います。そして、すごく貴重な経験になり、将来は建設関係や土木関係の仕事に就きたいと改めて強く思いました。その時に今回の現場見学会で学んだことを活かしていき、役立ていきたいです。

10.佐藤佑太

今回、現場見学会に参加させていただき学んだことがあります。それは、ICT 活用の実装によって 1 人で簡単に作業ができるようになったことです。

ドローンによる 3 次元測量や ICT 建設機械による施工ができるようになり、若手の方が早く理解できるようになったと思います。このことで、ICT が広まり、ICT 建設機械の実装によって素早く作業に取り掛かることができ、昔より早く作業を終わらせることができると感じました。また実際に ICT 建設機械を体験した時、掘削の深さが設定されているので設定以上に深く掘ることができなくなっていました。最初はそんなことはないと思っていましたが、設定したより深く掘ろうと思ってすると ICT 機械が自動で止まったので驚きました。

最後に、ICT 建設機械の操作がとても簡単で面白かったので、将来は ICT 建設機械が使えるような土木関係の仕事に就職したいと思います。

11.澤田示右

私は、今回の現場見学会で最近の工事現場は AI やドローンなどの最新技術がほとんどの現場で導入されていると感じました。

特にドローンを使って上空から写真を撮りその写真に点を打ち、距離や法面の高さを測る技術に驚きました。ドローンを使い測量すれば測量に掛かる時間だけでなく、工事の期間も短くできて良いと思います。また、AI を使ったタイヤローラーは締固めの回数や締め固めた場所が画面に表示されていました。それを見ながら作業するので、分かりやすく作業の効率が上がるので、AI の技術はありがたいと思

いました。

今回の現場見学会を体験して、今の工事現場は最新技術が多く導入されていることや誰でも簡単に建設機械を操作できること、週休2日制と思うと、働くことに楽しさが出てくると思いました。また、学校で測量や建設機械の操作の仕方を覚え、いつか仕事で活かせるといいと思いました。

12.坪井雄太

始めに行った那賀川の土工現場では、様々な最先端技術を使った機械が見ることができて良かったです。将来仕事をする中でこの技術で事故が減るのはとても安心でき、良いと思いました。

次に行った八幡原工区の工事で様々な機械に乗ることができ、面白かったです。私はローラーに乗せてもらって、やはり自分で何かをするのは楽しいと感じました。

その次の砂防工事では、堤防が2種類あり、どのように工事が進んでいくのかを教えてもらいました。教科書で学習している時よりも実物があるのでとてもわかりやすく勉強になりました。

最後に行った中島の測量でも最先端の技術が使われており、普段やっている測量の実習より難しいことをしているのに、とても簡単に測量できていて驚きました。

将来、このような仕事をする中でこの技術を使うと正確にできると聞いたのでこの技術を沢山使える仕事に就きたいと思いました。

13.中岡 仁

4カ所の現場見学会の内、次の現場が特に印象に残りました。

まず、「加茂地区左岸道路改良外工事」という現場では、ドローンとバックホーの操作を見学しました。ドローンを使用した施工が増えていると聞き、実際にドローンの操作体験もでき、良い体験だったと思います。

次に、「那賀川・八幡工区那賀・和食河川工事」という現場では、タイヤローラーやバックホーに実際に乗って、作業の流れを体験することが出来ました。将来建築か土木のどちらかに就職を考えているので、タイヤローラーといった重機に乗せて頂いたことは、すごく良い経験や体験になったと思います。

以上が印象に残った現場でしたが、砂防ダムの工事や最新のトータルステーションを使用した測量なども良い体験でした。学校にはない、すごく便利なものばかりで、私も将来してみたいと思いました。このような貴重な体験ができて本当に良かったです。

14.中津星哉

私は、現場見学会を通して自分の身近な場所で工事をしている所がたくさんあることに気づきました。1つ目の加茂地区の現場ではドローンを使った測量をしていました。実際にドローンの操作をさしていただきました。

2つ目の那賀町の現場では、ブルドーザーなどに乗せてもらいました。3つ目の美波町の現場では、完成している砂防ダムを実際に見学しました。四つ目の那賀川の現場では、最新の測量方法を使っていました。

今回の4つの現場を見学し、周りの人への心遣いや、けがをさせないなど、色々なことに気を使い作業をしていると思いました。将来、仕事で使うかもしれない最新の測量やドローンを使った測量、土工機械に乗せてもらうことができ、とても良い経験をする事ができました。今回学んだことを忘れず、自分が仕事をする時に役立てていきたいです。

15.仁木壮誕

今回、お急ぎの中現場を見せていただきありがとうございます。中々見ることが出来ない所や貴重な機械を乗せていただきありがとうございます。

那賀川町や日和佐や那賀郡鷺敷町の現場を見て特に学んだことがあります。それは、鷺敷町の現場でドローンなど最新技術を使って施工していたことです。ドローンを用いて、効率よく施工し、冠水を防ぐ工事を見たとき驚かされました。また、バックホーの操縦者が女性という所も驚きました。若い人でも出来るので、私もバックホーやドローンを操作出来たらいいなと思いました。

今回、4ヶ所の現場行って感じたことは若い人や高齢者でも一緒に先輩後輩関係なく働いていることです。将来この現場に行ったら、安全に機械を取り扱えると感じました。

最後に現場にいた皆さんありがとうございました。近い将来逢えたらまた教えてください。

16.船本陽都

現場見学会に行って学んだことは、土木作業の大変さと重要さです。日和佐での砂防ダムの現場見学で、細かい設計と長い歳月をかけて作るのは大変だと聞き、同時にこのダムが地域を守るダムだということを知ったとき、とても重要な作業だと思いました。また、加茂地区の現場見学では、浸水被害があつてからわずか4年で、あんなに堤防ができているのはすごいと思いました。最近ではドローンを使って作業をしていると知って驚きました。

さらに、鷺敷での現場見学で、タイヤローラーに乗ったとき思ったより操縦が簡単で驚きました。そのとき砂煙が周りの住宅に飛ばないように水をまいていると知って、すごく周りの住宅のことに気を使いながら作業しているということを知りました。

今回の現場見学では、土木関係の仕事への興味がより一層強くなりました。今回学んだことを将来生かしていきたいです。

17.前田風輝

今回の現場見学では、i-Constructionを使う現場が多かったです。特に印象に残っていることが次の通りです。

まず、加茂地区ではドローンやバックホーの操作を見学させていただきました。バックホーでは、ミス無くするために自動的にどこまで掘るかをコンピューターが制御してくれていることを初めて知りました。

鷺敷では、ブルドーザーの操作体験をし、前に進むだけで自動的に高さを合わせられることを知りました。ここでは、バックホーにも乗り、普通なら面倒な操作をレバー1つだけで全部操作ができ、とても簡単でした。

日和佐の現場では、知事賞を取った砂防ダムを見学し、施工した人たちがすごいと思いました。私も将来、これに負けないような賞を取りたいと思いました。

今回、地元でこのような素晴らしい構造物があることを知り、若い人でも熟練者のような施工ができていると思いました。

18.松浦拓未

今回の現場見学会で多くのことを学ぶことができたと思います。

まず、加茂の現場ではバックホーの中のモニターをテレビに映し、とても丁寧に説明していただきました。次の現場で実際にバックホーに乗ってみるとバックホーの動きとモニターが連動しているので掘

削し過ぎることもないので一人で楽にできると身をもって感じる事が出来ました。また、ベテランの人だけでなく若い人でもできるとも思いました。

次に、日和佐の現場では運搬車が道路に敷いてある鉄板の上を通るときに起こる音が迷惑にならないようにゴムマットを敷くという対策方法があると学びました。

今回の現場見学会で土木工事への印象が変わり自分の進路選択の中に土木関係の会社も入れていきたいです。そして、学んだことを将来の進路決定に活かしていきたいと思いました。

19.三橋航平

今回、現場見学会に行って、たくさんの事を学ぶことができました。

1つ目に、加茂地区の現場でドローンを使って上空からの写真や映像を元に土木工事をしていることなどを学びました。2つ目の現場では、那賀川の河川工事を見学し、私たちが教科書などで勉強した、バックホーやブルドーザーなどの土木工事です使う機械の操縦方法を学ぶことができました。3つ目の現場では、まずケガや事故をしないように心がけていると聞き、とても感激しました。この事は、もし自分が土木工事に関わることがあれば、自分もケガや事故をしないようにしようと思うからです。

最後に、自分たちは将来、建築か土木の仕事をすると思います。したがって、今回、現場見学会で学んだことを、将来の仕事に活かすことができるようにしていきたいと強く思いました。

20.宮本佑太

今回、現場見学会に参加し、より一層建設関係の仕事に進もうと思いました。私は、2つの現場が特に印象的です。

1つ目は、加茂谷の河川工事現場に見学しに行き、ドローンを使った測量を見学しました。今の時代はi-Constructionを使った測量などがメインになってきているのを実感しました。

2つ目は、バックホーやタイヤローラーやブルドーザーの体験をしました。始めは操作が難しいと思っていました。実際に乗ってみると、あまり難しくなく、操作が簡単で楽しいと思いながら体験することができました。いずれは資格を取りたいと思っているので体験できたことは凄く勉強になりました。

私は、この現場見学会で地域の人のために働いている方たちを見て建設業の印象が変わっていきました。きつい仕事だと思っていたが、やりがいのある仕事という見方に変わっていきました。

21.撫佐玲多

私は、今回の現場見学会で、今まで知らなかった様々なことを学ぶ事ができました。

最初に行った加茂谷の現場では、私の想像していた工事現場とは全く違っていました。私の思う建設関係の仕事は、もっと大変で、全く休みのないような仕事だと思っていました。しかし、ここの現場では、i-Constructionを活用し、様々なことを情報化していました。このことによって、1人1人の生産性を向上させ、作業効率もよくなり、さらに、とても大きいバックホーも、機械の指示に従うだけで、非常に簡単に操作できることがすごいと思いました。さらに、ドローンによる3次元測量など、驚くことばかりでした。

私たちのような若手でも、作業がしやすく、さらに週休2日制を取り入れ、今まで私が想像していた現場見学とは違った新しい工事現場を知れました。今回学んだことを将来に活かせるようにしたいと思います。

22.村上知輝

今回の現場見学会は、知らなかったことをたくさん知ることができてよかったです。

1つ目の現場は、堤防を施工しており、ドローンを使って盛土の高さや削る部分などが簡単にわかるのがすごいと思いました。2つ目の現場は、浸水対策のために盛土を4メートル上げる作業をしていました。そこでブルドーザーとバックホーに乗せてもらえて嬉しかったです。ブルドーザーの操作はバックホーに比べて簡単でした。夏に受けた授業に比べて、とても簡単にバックホーが操作できてびっくりしました。3つ目の現場は、砂防工事をしており、この堤防を見た時にとっても綺麗にできていると思いました。4つ目の現場は、最新の測量技術で盛土などの施工をしており、そこで使われていた測量器機の機能もすごく、とても簡単に測量ができるので、とても楽しかったです。

今回の現場見学会で学んだことをこれからの進路決定に生かしたいと思います。

23.森本暁臣

私は、この現場見学会で多くのことを学び、次の2つの現場が印象に残りました。

まず、加茂谷ではドローンによる測量など最新機器を使用した施工をしていました。また土曜日にも休日になっている建設会社が増えてきていることなど、時代に合わせて建設業界が変化していることを学びました。

次に、美波地区では、施工をする際に注意している事に関して学び、気温に合わせた休憩や重機を動かしている時の注意事項などを学びました。作業員にどれだけ気を遣っているのかがよく分かりました。また近くの住宅への配慮もしていて、鉄板の上にゴムシートを敷き作業音を出来るだけ小さくしていました。

今回の現場見学会を通して、建設業界が時代に合わせた変化や最新機器の使用方法、重機の使い方などを学び、とても良い経験をしました。この経験をこれからの授業や進路選択に生かしたいと思います。

24.横田 翼

現場見学会では、私の良かったと思う現場が2つあります。1つ目が加茂地区の現場です。ここでは那賀川の河川改修工事をしており、ドローンを飛ばして上空からの写真を使ってその土地のデータを出していました。このことで作業の効率化につながると学びました。

2つ目が美波町です。砂防ダムを造り地震が起きた時に人々を津波から避難させる機能もあり、土砂崩れから町を守る機能もあります。作業を急いで進めるのではなく安全に気をつけ、休憩を取りながら作業をしていると聞きました。この夏は気温が非常に上がり30分に1回は休憩をとるそうです。

今回の見学会を通して最新の技術や現場でのやりがいなどが多くを学びました。昔の建設業のイメージとは違い、現代の建設業を学べたので良かったです。今後自分の進路選択をする時、役立てていきたいです。

25.横田 龍

今回見学会を開いてくださり、ありがとうございました。

多くの現場を回る中でバックホーやローラーなど重機が使われていて乗ることもできました。そして、ドローンなどの最新機器が用いられていて効率化が計られていると思いました。新3Kの給与・休暇・希望は、こんな職場はきっと楽しくて明るい職場になると思うから、もっと広まってほしいです。

私がイメージする現場は汚くて、大変そうというものでした。しかし、この見学会を通して、清潔で楽しそうと思いました。自分の目で現場を見ることで教科書の写真で見るとよりわかりやすく、現場の

方に質問すると、優しく丁寧に教えてくださって、すごく勉強になりました。

私はまだ就職するまで2年ありますが、この現場見学で教えてくださったことを、これからの進路決定に活かしていければいいなと思います。